

重要文化的景観 水郷めぐりへのご案内



- 現在、近江八幡市内(観光物産協会)では4社が「水郷めぐり」を行っています。
- 乗船するには定期便が貸切り(要予約)のどちらかになりますが、グループでお越しのお客様には貸切り船の方がお得になります(貸切船は一艘当たりの値段です)。

*価格はすべて10%消費税込価格です。

JR近江八幡駅北口(6番乗り場)長命寺行き、もしくは休暇村近江八幡行きバスに乗り下さい。

各社の水郷めぐり船発着場は右記の通りですが、それぞれバス停が異なりますのでご注意ください。

- ① 近江八幡和船観光協同組合…(乗車時間・約9分 豊年橋下車) ※バスは1時間に2本~3本程度運行されています
 - ② 水郷のさとまるやま…(乗車時間・約11分 円山下車)
 - ③ 島真珠水郷観光船部…(乗車時間・約12分 白王口下車) お問い合わせは
 - ④ びわ湖観光株式会社…(乗車時間・約17分 陶芸の里下車) 近江鉄道バス あやめ営業所
- ()内は近江八幡駅からの所要時間・最寄のバス停名(いずれも下車すぐ)です。
※バス乗車時間は目安であり交通事情により遅れることがあります。
- Tel. 077-589-2000まで

業者名 (問い合わせ・申し込み先)	定期便出発時刻 (定期船運航時間)	貸切料 (税込み) 要予約	食事 (税込み) 要予約
① 近江八幡和船観光協同組合 http://www.suigou-meguri.com/ 近江八幡市北之庄町 880 Tel 0748-32-2564	定期船の乗船時間は約80分 10:00 15:00 (大人 ¥2,400) (小人 ¥1,200) 4月1日~11月末日	手こぎ船 6人乗り 60分コース ¥9,220 80分コース ¥9,970 120分コース ¥12,620 手こぎ船 8人乗り 60分コース ¥11,600 80分コース ¥12,960 120分コース ¥16,430	弁当 ¥1,650~¥3,300 近江牛すき焼き ¥4,400 ¥5,500
② 水郷のさとまるやま https://www.za.ztv.ne.jp/tekogi.maruyama/ 近江八幡市円山町 1467-3 Tel 0748-32-2333	定期船の乗船時間は約60分 10:00 13:10 15:00 (大人 ¥2,200) (学生 ¥1,870) (小人 ¥1,100) 4月1日~11月末日(無休) 12月~3月毎週水曜 定休日	手こぎ船 6人乗り 60分コース ¥8,800 90分コース ¥11,000 手こぎ船 8人乗り 60分コース ¥11,000 90分コース ¥14,300 4月1日~11月末日(無休) 12月~3月毎週水曜 定休日	弁当 ¥1,650~¥3,300 すき焼き ¥4,400 (滋賀県産和牛) ¥6,050 (近江牛)
③ 島真珠水郷観光船部 https://www.omi8.com/sightseeing/suburb/27/ 近江八幡市円山町 224 Tel 0748-32-3527	定期船の乗船時間は約60分 10:30 14:30 (大人 ¥2,200) (小人 ¥1,100) 3月中旬~11月末日 不定休のため要問合せ。	エンジン船 12人乗り 60分コース ¥16,500 90分コース ¥22,000 120分コース ¥27,500	水郷弁当 ¥1,650~ 近江牛すき焼き ¥3,300~
④ びわ湖観光株式会社 http://www.suigou.com 近江八幡市中之庄町 639-1 Tel 0748-32-2131	定期船の乗船時間は約60分 10:30 13:30 15:30 (15:30は冬季欠航) (大人 ¥2,200) (小人 ¥1,100) 不定休のため要問合せ。	エンジン船 12人乗り 70分コース ¥19,800 90分コース ¥22,000 120分コース ¥27,500	弁当 ¥1,650~ 近江牛すき焼き ¥3,850~

※定期船は季節や天候によって運休する場合がありますので、事前に各業者に運行状況をお問い合わせ下さい。



近江八幡駅北口観光案内所 TEL 0748-33-6061
 安土駅観光案内所 TEL 0748-46-4234

HP <https://www.omi8.com>
 FB <https://www.facebook.com/omi8kb>



近江八幡の水郷

近江八幡の「水郷」是一片地处琵琶湖和近江八幡市之间的保护区，占地3.54平方公里，拥有由水路、芦苇地、稻田和村庄交织而成的丰富景观。数世纪以来，人类为了发展交通和渔业，在这里开辟水路、种植芦苇，水乡的自然景观便随之渐渐成形。这里的芦苇以质地坚韧闻名，自古以来就是铺设屋顶、修建房屋的建筑材料，还可用于制作屏风和帘幕。此外，芦苇地在自然生态中也有着重要的功能，如保护湖岸不受侵蚀、过滤污染物和净化水质，以及为多种水禽和鱼类提供栖息地和繁育地等。

水乡之内水路纵横，连接起八幡堀、琵琶湖及其内湖“西之湖”。这些水路的历史可以追溯到1585年。当时，武将丰臣秀次(1568-1595)修建了八幡山城，并在城郭脚下建立八幡町(今近江八幡)，开掘八幡堀，通过水乡将八幡町与琵琶湖相连。此后，近江八幡逐步成为繁荣的商业中心，这片水路功不可没。相传，丰臣秀次还模仿贵族坐游船娱乐，在船上举办茶会，将泛舟文化带到了这片水乡。时至今日，乘船游览依旧是欣赏水乡风光的最佳选择。

顾名思义，“水郷”便是“水之故乡”，这个词表达了自然风光与人们日常生活的亲密关系。近江八幡的水郷是日本第一个获得“重要文化景观”称号之地，2015年，它又作为“琵琶湖及其湖滨景观——祈愿与生活的水遗产”的一部分被认定为“日本遗产”。此外，1949年日本列“琵琶湖八景”为新八景，从而更新了江户时代(1603-1867)的“近江八景”，其中，“春色·安土八幡水郷”正是描绘了近江八幡的水郷风光。相传日本各地的八景均源自中国宋代湖南的“潇湘八景”。

近江八幡の水郷

近江八幡の「水郷」是一片地处琵琶湖和近江八幡市之间的保护区，占地3.54平方公里，拥有由水路、芦苇地、稻田和村庄交织而成的丰富景观。数世纪以来，人们为了发展交通和渔业，在此开辟水路、种植芦苇，水乡的自然景观便随之渐渐成形。这里的芦苇以质地坚韧闻名，自古以来就是铺设屋顶、修建房屋的建筑材料，也用于制作屏风和卷簾。此外，芦苇地还在自然生态中有着重要的功能，如保护湖岸不受侵蚀；过滤污染物，净化水质；为多种水禽和鱼类提供栖息地和繁育地等。

水乡裡水路縱橫，連接起八幡堀、琵琶湖及其內湖「西之湖」。這些水路的使用歷史可以追溯到1585年。當時，武將豐臣秀次(1568-1595)修建了八幡山城，並在城郭腳下建立八幡町(今近江八幡)，開掘八幡堀，透過水郷把八幡町與琵琶湖相連。此後，這片水路在近江八幡成為繁榮商業中心方面發揮著重要的作用。相傳，豐臣秀次還模仿貴族遊船娛樂，在船上舉辦茶會，將遊船傳統帶到了這片水郷。時至今日，乘船遊覽依舊是欣賞水郷風光的最佳選擇。

顧名思義，「水郷」便是「水之故鄉」，這個詞表達了自然風光與人們日常生活的親密關係。近江八幡的水郷是日本第一個獲得「重要文化景觀」稱號的景點，2015年，它又作為「琵琶湖及其湖濱景觀——祈願與生活的水遺產」的一部分被指定為「日本遺產」。此外，1949年日本列「琵琶湖八景」為新八景，從而更新了江戶時代(1603-1867)的「近江八景」，其中，「春色·安土八幡水郷」正是描繪了近江八幡的水郷風光。相傳日本各地的八景均源自中國宋代描繪洞庭湖兩岸景緻的「瀟湘八景」。

水乡泛舟

小船轻摇，四下里只有鸟鸣和风吹过芦苇的声音。成千上万高挺的绿草密密匝匝地簇拥着，从船舷两侧掠过。忽然一朵水花溅开，是左边飞来了一只红脖子的小鸊鷉(音同“辟涕”)。只见它一头扎入水中觅食，眨眼间便又飞远了。前方，一只白鹭迈着优雅的步伐，正穿行于浅滩之中。芦苇丛中，东方苇莺“嘎嘎嘎、嘎嘎嘎”的清脆叫声此起彼伏。

芦苇地、沼泽、稻田之间水路纵横，连接了近江八幡市与琵琶湖——这就是近江八幡的水郷。这片水乡在历史小说家司马辽太郎的游记《街道漫步》中也有提及，是远近闻名的观光胜地。2015年它还作为“琵琶湖及其湖滨景观——祈愿与生活的水遗产”的一部分被认定为“日本遗产”。水乡泛舟可以让人们置身这宁静的风光之中，远离尘嚣，悠然享受独特之美。

当地共有4家公司提供水乡泛舟服务。两家是汽船，两家是手摇船，后者由一名船夫在船尾掌舵摇船。所有船只都有顶篷，船舱简朴，铺有榻榻米地席。游船游客需脱鞋后再进入有顶篷的区域，坐在榻榻米上。

近江八幡水乡泛舟的传统，据说是始于16世纪八幡山城城主丰臣秀次(1568-1595)在船上举办的一次茶会。如今虽没有茶会，但人们可以预订美食在船中享用。所有公司都提供午餐便当和近江牛肉寿喜烧套餐。

水郷游船

游船轻摇，四周只有鸟鸣和风吹过芦苇的声音。成千上万高挺的绿草密密匝匝地簇拥着，从船舷两侧掠过。忽然一朵水花溅开，是左边飞来了一只红色脖子的小鸊鷉(音同“關涕”)。只見它一頭鑽進水中覓食，眨眼間便又飛遠了。前方，一隻白鷺邁著優雅的步伐，正穿行於淺灘之中。蘆葦叢中，東方葦鶯「嘎嘎嘎、嘎嘎嘎」的清脆叫聲此起彼伏。

蘆葦地、沼澤、稻田之間水路縱橫，連接了近江八幡市與琵琶湖——這就是近江八幡的水郷。這片水郷在歷史小說家司馬遼太郎的遊記《街道漫步》中也有提及，是遠近聞名的觀光勝地。2015年它還作為「琵琶湖及其湖濱景觀——祈願與生活的水遺產」的一部分被認定為「日本遺產」。水郷游船可以讓人們遠離塵囂，沉浸在這寧靜的風光之中，悠然享受獨特之美。

當地共有4家公司提供水郷游船服務。兩家是汽船，兩家是手搖船，後者由一名船夫在船尾掌舵搖船。所有船隻都有頂篷，船艙簡樸，鋪有榻榻米地席。游船游客需脱鞋后再进入有顶篷的区域，坐在榻榻米上。

近江八幡水郷游船的传统，据说始于16世纪当时的八幡山城城主丰臣秀次(1568-1595)在船上举办的一次茶会。如今，虽没有茶会，但旅客可以预订餐点在船中享用。各家公司都有提供午餐便当和近江牛肉寿喜烧套餐。

八幡堀泛舟

想欣赏近江八幡重要传统建筑群保护区的风景，最便捷的方式就是参加八幡堀的泛舟之旅。这条水道曾是繁忙的运河，从如今沿河的白墙仓库和优雅的商人住宅上还能看到这段历史留下的影子。江户时代(1603-1867)的气息在这里保存得如此完好，为人们带来仿如时光倒流的错觉，连历史剧也常常来这里取景。今天的运河两岸种着樱花和花菖蒲，四时风光各有不同。

“和田”、“新町”两家公司提供八幡堀泛舟服务。两家公司的游船都有顶篷和简单的榻榻米船舱。登船后，游客需脱鞋后才能进入顶篷区域，坐在榻榻米地垫上。所有游船的起点和终点都设在风光如画的河道中段，但也可选择水路西端区域的航路，那里更为安静。

八幡堀遊船

想欣賞近江八幡重要傳統建築群保護地區的風景，最方便的方式就是參加八幡堀的遊船之旅。這條水道曾是繁忙的運河，從如今沿河的白牆倉庫和優雅的商人住宅上還能看到這段歷史留下的影子。江戶時代(1603-1867)的氣息在這裡保存良好，為人們帶來仿如時光倒流的錯覺，連歷史劇也常常來這裡取景。今天的運河兩岸種著櫻花和花菖蒲，四時風光各有不同。

「和田」、「新町」兩家公司提供八幡堀遊船服務。兩家公司的遊船都有頂篷和簡單的榻榻米船艙。登船後，遊客需脫鞋後才能進入頂篷區域，坐在榻榻米地墊上。所有遊船的起點和終點都設在風光如畫的河道中段，但也選擇遊覽更為安靜的水路西端區域的航路。

観光庁 「この解説文は観光庁の地域観光資源の多言語解説整備支援事業で作成しました」

編集後記

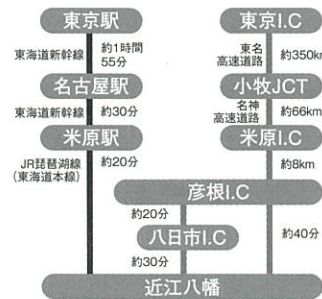
私共の観光案内所には、観光客や旅行会社の方々から「水郷めぐりの見どころは何ですか」「水郷には何がありますか」と聞かれることがあります。水郷めぐりは琵琶湖めぐりでもなく、急流下りのようなスリルもありません。水郷には空とヨシと水鳥など自然の風景がそのままあるだけで、何か名所や見どころがありません。

水郷は飾り物として存在しているのではなく、そこは人間を含む動植物の生活が営まれ、そして生き続けている場所です。水郷では、何か与えられるのではなく、のんびりとした環境と穏やかな時間の中で、五感や心の中で感じるそのものが魅力であり財産だと思います。

一言では言えないこの素晴らしい世界。まだ、乗船されたことのない方には是非、水郷の素晴らしいさを感じて頂きたいです。(田中)

=交通のご案内=

■東京方面から



■大阪方面から



近江八幡の水郷(水郷めぐり)のヨシ

「近江八幡の水郷」は、かねてより琵琶湖八景「安土八幡の水郷」の一つに数えられるなど、風光明媚な場所として観光地としても市民の心のよりどころとして存在してきました。四季折々にも見せるその美しさを求めて、県内外から写真や絵画の愛好家も多く訪ねてくる場所でもあります。



ヨシ焼き風景

水郷の四季はそれぞれに趣があり、水鳥たちも多くが集うなど、自然の営みや恵みを感じるこの出来る場所です。春は芽吹きはじめ、夏は青々と4mから5m近く成長し、秋は葉を落とし黄金色に変化し、冬は各地でヨシ刈り風景が見られます。また芽吹きを良くするため、2月から3月上旬に行われる「ヨシ焼き」は水郷の早春の風物詩となっています。



ヨシ刈り風景



このような情緒を直に感じる事が出来るのが「水郷めぐり」です。この始まりは、織田信長や豊臣秀次が戦国の世の疲れを癒すため宮中の雅やかな遊びを真似て始めたと言われています。

ヨシ

ヨシは植物学的にはイネ科ヨシ属の多年生草体です。世界中の亜寒帯から暖帯にかけての水辺に生え、湖、河川、汽水域(淡水と海水が混在する場所)にも生息しています。ほかの植物と同様に秋には稲をつけ小さな種を作ります。ヨシは群落で生息することで、水中の窒素やリンなどの養分を吸い取る、水鳥や魚の生息地となる、湖岸の浸食から守るなど様々な役割を果しています。

アシ

「ヨシ」という言葉は万葉集や日本書紀等では使われておらず、「アシ」が使われています。平安末期ごろ、アシは「悪し」につながるため、「ヨシ」善しに変化したようです。アシとヨシは植物学的には同一ですが、地元業者では、中が詰まっている物を「アシ」、空洞な物を「ヨシ」と使い分け、アシは質的にも量的にも利用価値はないとされています。

葎(葎(葎)、葎の葎)

江戸時代の書物「本草綱目啓蒙」によれば、「葎は初生ナリ、葎八長ナリ、葎八已成ナリ、而シテ葎八其総名ナリ」と区別されています。しかし実際には、正しく使用されていないことが多いようです。



八幡まつりのヨシ松明



重要文化的景観とは

2005年4月の文化財保護法の改正により新しく生まれたもので、文化的景観を「地域における人々の生活又は生業及び当該地域の風土により形成された景観地で我が国民の生活又は生業の理解のため欠くことのできないもの」としています。又、文化的景観のうち、特に重要なものを都道府県又は市町村の申し出に基づき、「重要文化的景観」として文部科学大臣が選定することとなります。

この重要文化的景観の第1号として選定されたのが「近江八幡の水郷」です。

西の湖 ラムサール条約湿地登録 (2008年12月30日)

- ①
- ②
- ③
- ④

テレフォンガイド	
● 近江タクシー	☎ 0748-37-0106
● 滋賀第一交通タクシー	☎ 0120-37-7535
● トヨタレンタリース	☎ 0748-38-1000
● ニコニコレンタカー	☎ 0120-32-2525
携帯からは☎ 050-04-2525 (9時~21時)	
● 駅レンタカー	☎ 0748-32-1134 (レンタサイクルあり)
▲ 近江鉄道バスあやめ営業所	☎ 077-589-2000

お堀めぐり(手こぎ船)
乗船料 大人/1,300円(税込)
0748-36-5115
水曜定休、冬期：不定休

八幡堀めぐり(エンジン船)
乗船料 大人/1,500円(税込)
問い合わせ 080-1510-5334
乗り場直通 090-6977-0045
年中無休

※乗船時間は、水郷めぐりは約60分~80分、八幡堀めぐりは約30分です。
※水郷めぐりと八幡堀めぐりを同時に楽しむことは出来ません。

日本遺産について

「日本遺産(Japan Heritage)」は地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産(Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。ストーリーを語る上で欠かさない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となつて総合的に整備・活用し、国内だけではなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

滋賀県では、古来より受け継がれてきた琵琶湖の水と人々を織りなす文化が、「琵琶湖とその水辺景観―折りと暮らしの水遺産」として「日本遺産」に認定されています。

